

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-110	高等学校	商業	商品開発と流通	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	※教科書名		

1. 編修の基本方針

- ・商品開発と流通について、実務に即して体系的・系統的に理解できるようにするため、本文記述とともに実社会に即した具体的事例を「事例」として掲載した。
- ・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本文記述に関連した興味深い考察を「コラム」として掲載した。
- ・自主及び自律の精神を養う観点から、章の終わりに学習内容の理解度を問う「確認問題」を掲載し、自学自習に取り組めるようにした。
- ・主体的・協働的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、「事例」と「コラム」を基にした実習課題として「+ S t u d y」を掲載し、主体的・対話的に内容の理解を深める学習ができるようにした。
- ・知識だけでなく、商品開発に必要な技術も学ぶために、適宜実習ページを配置した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う観点から、障がいの有無や能力の差などにかかわらず多くの人の利用しやすくするユニバーサルデザインと、何からの機能に制限のある人のニーズに焦点を合わせて改善を実現するアクセシブルデザインについて、実際の商品の事例と絡めて取り上げた。(第2号) 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、全国各地の高校が地元の特産品を取り入れた商品開発の実践例を紹介した。(第5号)	巻末 巻末⑤⑥

<p>1 章</p>	<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、商品とは何か、流通とは何か、それらはどのように誕生したのかの説明を行った。（第1号）</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことの観点から、グローバル化の進展により日本の地方で活動している企業でも世界全体を顧客とする必要性を述べ、その事例として香川県の企業が海外を顧客にしていることを取り上げた。（第5号）</p> <p>職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う観点から、イノベーションを取り上げ、身の回りの商品やビジネスもイノベーションの結果として進化していることを説明した。（第2号）</p> <p>生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、コラムでSDGsを意識した商品開発を取り上げ、プラスチック廃棄物の削減のためにパッケージを紙に切り替えた企業の取り組みを記述した。（第4号）</p> <p>主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、社会の変化に合わせて商品を開発する意義についてイラストを交えて記述した。（第3号）</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うために、商品開発の手順を説明した。（第1号）</p> <p>自他の敬愛と協力を重んずる観点から、さまざまな部門のメンバーが一つのチームを形成して商品開発を進めるノンリニア型開発を、事例を交えて紹介した。（第3号）</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、流通の役割や仕組みについて解説を行った。（第1号）</p>	<p>p. 8～9</p> <p>p. 9</p> <p>p. 11</p> <p>p. 14</p> <p>p. 19</p> <p>p. 24～27</p> <p>p. 28</p> <p>p. 29～32</p>
<p>2 章</p>	<p>創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う観点から、コラムにて、糊付き付箋の開発時のエピソードを紹介し、商品開発における創造性の重要性について取り上げた。（第2号）</p> <p>正義と責任を重んずる態度を養う観点から、商品の開発チームにはリーダーシップ能力を持つリーダーを選定することの重要性について取り上げた。（第3号）</p>	<p>p. 36</p> <p>p. 37</p>

	<p>生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、事例にて、地球環境に悪影響を与える恐れのあるプラスチックの利用制限の動きが、商品開発へどのような影響を与えるのかを取り上げた。（第4号）</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、企業理念とミッションの重要性と、成功している企業の多くは企業理念とミッションに沿って商品開発を行っていることを、事例を交えて記述した。（第3号）</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、インスタント麺のメーカーは、多様な食文化を持つ日本において、地域に合わせて即席うどんのつゆの味を変えていることを取り上げた。（第5号）</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、商品開発における市場調査の重要性やプロセス、方法について記述した。（第1号）</p> <p>自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、たくさんの商品アイデアを発想する方法の一つとしてブレインストーミングとそのやり方について記述した。（第3号）</p> <p>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視する観点から、水平思考の一例としてSCAMPERを取り上げ、既存のアイデアから新しいアイデアを創造することで新しいサービスを起こせることの例を説明した。（第2号）</p> <p>自他の敬愛と協力を重んずる観点から、商品開発の意思決定を行う責任者に商品の魅力や特徴を説明して承認をもらうために行うプレゼンテーションを取り上げ、プレゼンテーションで成功するためのポイントについても説明した。（第3号）</p>	<p>p. 38</p> <p>p. 42</p> <p>p. 45～46</p> <p>p. 48～55</p> <p>p. 57</p> <p>p. 58</p> <p>p. 62</p>
<p>3 章</p>	<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、事業計画の目的や手順を説明するなど、事業計画の概要を示した。（第1号）</p> <p>創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、勤労を重んずる態度を養う観点から、事業計画書の作成方法を示した。（第2号）</p>	<p>p. 70</p> <p>p. 83～86</p>

	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、開発した商品が発売された後の検証を行い、消費者の不満をフィードバックして商品の改良を行うことの重要性について納豆の事例を交え記述した。(第3号)	p. 86
4 章	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、商品コンセプトを具体化し商品化するために必要である商品仕様と詳細設計、プロトタイプについて説明を行った。(第1号)	p. 98~105
	自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、Feature「市場への導入」のなかで、新商品が売れるためには、流通や販売に関わる企業や人々の応援が必要であることを記述した。(第3号)	p. 106~107
	自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、チョコレートの商品を取り上げ、食べ終わったらそのまま捨てるだけのプラスチック製のパッケージから、折り鶴を作れ大切な人に思いを伝えるツールとして活用ができる紙製パッケージに変更した事例を紹介した。(第4号)	p. 138
	正義と責任の観点から、開発した商品が無断で真似されないために、知的財産権を保護することの重要性を記した。(第3号)	p. 140
	伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、技術移転機関の橋渡しによる産学連携を取り上げ、地元の大学と地元のメーカーが持つそれぞれの技術が連携し新しい地元の特産品が商品化された事例を紹介した。(第5号)	p. 148
5 章	勤労を重んずる態度を養うことの観点から、企業に向けての販売員活動である営業の仕事内容について紹介した。(第2号)	p. 150~151
	自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、販売員は接客サービスにおいてホスピタリティ溢れる対応を意識することの重要性について説いた。(第3号)	p. 152
	豊かな情操と道徳心を培う観点から、顧客満足と販売員活動の結びつきを取り上げ、その例として従業員満足が向上されると顧客満足が上がるサービス・プロフィット・チェーンについて記述した。(第1号)	p. 154~155
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養	p. 156~159

	う観点から、消費者の購買意欲を高める活動であるセールス・プロモーションについて、金銭的・非金銭的を含めて紹介した。(第1号)	
6章	<p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、デザイン思考について、5段階のプロセスも含めて説明を行った。(第1号)</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、クラウドファンディングを取り上げ、支援者からの資金や意見を取り入れて商品開発が行われることを記述した。(第3号)</p> <p>個人の価値を尊重する観点から、一人ひとりの好みや属性に基づき個別に行われる昨今のマーケティングのなかで、個人情報保護法に触れ、個人情報は適切で厳正な管理が求められていることを述べた。(第2号)</p> <p>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養う観点から、五感を利用した商品開発と流通の事例について説明した。(第1号)</p>	<p>p. 171</p> <p>p. 173</p> <p>p. 179</p> <p>p. 180~182</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

商品の企画開発から消費者の手に渡るまでの一連の流れを体系的に理解させるために、章立てや内容の構成に配慮を行った。また、学習内容を理解しやすくするため、本文はやさしく簡潔に、図、イラスト、統計資料、写真を豊富に掲載することを心がけた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-110	高等学校	商業	商品開発と流通	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

科目『商品開発と流通』を生徒が興味を持って学習し、基礎的・基本的な事項を無理なく習得できるように、以下の点に配慮した。

- (1) 教科書の冒頭にIntroductionを置き、なぜ商品開発と流通は行われるのかや、『商品開発と流通』をなぜ学ぶのかを記し、初学者の学習意欲と目的意識の喚起につながるように配慮した。
- (2) 生徒が事例と関連付けて本文内容を理解できるように、本文記述に対応した具体的事例を「事例」としてまとめた。また、生徒の意欲を引き出すため、本文記述に関連する興味深い話題を「コラム」としてまとめた。
- (3) 生徒が主体的かつ協働的に学習に取り組むことができるように、「事例」「コラム」に対応した実習課題として「+Study」を掲載した。テーマに応じて「調べよう」「考えよう」「話し合おう」という三つの観点のなかから課題を設定し、多様な観点で学習内容を深められるように配慮した。
- (4) 「1章 商品開発と流通の概要」では、商品開発と流通の概要と、商品開発の流れについて扱った。
- (5) 「2章 商品の企画」では、商品開発の出発点となる商品の企画について学び、環境分析と意思決定の準備、市場調査、商品コンセプトの策定の手順を経て、商品開発の意思決定を行う過程について扱った。
- (6) 「3章 事業計画の立案」では、開発した商品を事業化させるための事業計画の立案について章として独立させ、事業計画書を作成するにあたって必要な要素を指導項目「(3)事業計画」「(4)流通とプロモーション」から抽出して扱うことにした。
- (7) 「4章 商品の開発」では、商品コンセプトを具体化し、商品化するための商品仕様と詳細設計、詳細設計を決めるうえで必要なデザイン、競合との差別化を図るためのブランド、商品を保護するための知的財産権について扱った。また、商品が完成した後のプロセスとして、特集Feature「市場への導入」を設けた。
- (8) 「5章 商品の販売」では、商品を顧客の手元に届けるための活動として、販売員活動とセールス・プロモーションについて扱った。

- (9) 「6章 商品開発と流通に関わる新たな展開」では、指導項目「(3)カ 商品開発の動向・課題」と「(4)ウ 流通とプロモーションの動向・課題」にある新たな動向を抽出して扱うことにした。
- (10) 章末を中心に、実践的、体験的な学習につなげられ、技術を身に付けられるように実習ページを置いた。
- (11) 各章末に、学習内容の理解を確認するために、確認問題を配置した。
- (12) 学習指導要領「(3)事業計画 イ商品デザインの制作」との対応として、4章内に特集Feature「デザインの技法」「パッケージデザインの機能・技法」「グラフィックデザインの機能・技法」、実習「パッケージをデザインする」「ポスターをデザインする」を設けた。
- (13) 新しく商品開発を行いたい学校への参考となることを狙い、巻末⑤⑥に全国の高校で実際に行われた商品開発の実践例を紹介した。
- (14) 生徒の興味関心付けのため、二次元コードまたはURLから、本文に関連した「事例インタビュー動画」を視聴できるようにした。
- (15) 側注欄に、先生をイラスト化したキャラクターの吹き出しを掲載し、内容の理解を助ける役割を与えた。
- (16) 側注欄に、重要用語の意味をまとめた「Word」を掲載し、用語の意味が理解しやすくなるようにした。
- (17) 側注欄に、本文や図、グラフに関連した実習課題である「+W o r k」を掲載し、多様な観点で学習内容を深められるように配慮した。
- (18) 本文下には適宜参照ページを示し、教科書全体の流れをつかみ、相互の内容について理解が深まるようにした。
- (19) 巻末には、本書の重要用語をまとめた「重要用語のまとめと解説」を掲載した。
- (20) 基本的な用語については、英語表記に慣れ親しむことができるように、英訳のルビを振った。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章 商品開発と流通の概要		p. 8～34	(18)
1節 私たちの生活と商品	(1)ア 商品の概念と商品開発の流れ		8
2節 商品開発の意義と手順	(1)ア 商品の概念と商品開発の流れ (1)ウ 市場環境の変化		6
3節 商品と流通の関わり	(1)イ 流通の仕組みと商品との関わり (1)ウ 市場環境の変化		4
2章 商品の企画		p. 36～62	(19)
1節 環境分析と意思決定の準備	(2)ア 環境分析 (2)イ 開発方針とテーマの決定		9
2節 市場調査	(2)ウ 市場調査		5
3節 商品コンセプトの策定	(2)エ 商品企画書の作成		4
4節 商品企画の提案			1
3章 事業計画の立案		p. 70～87	(13)
1節 事業計画の概要	(3)オ 事業計画書の作成		1
2節 価格計画	(3)エ 価格の設定		3
3節 流通計画	(4)ア 流通経路の開拓		3
4節 プロモーション計画	(4)イ プロモーションの実施		3
5節 事業計画書の作成	(3)オ 事業計画書の作成		3
4章 商品の開発		p. 98～148	(36)
1節 商品仕様と詳細設計	(3)ア 商品仕様の詳細設計と評価		3
2節 プロトタイプ	(3)ア 商品仕様の詳細設計と評価		4
3節 商品とデザイン	(3)イ 商品デザインの制作		16
4節 ブランド	(1)イ 流通の仕組みと商品との関わり		7
5節 知的財産権の登録	(3)ウ 知的財産の登録		6
5章 商品の販売		p. 150～164	(10)
1節 販売員活動	(4)ア 流通経路の開拓 (4)イ プロモーションの実施 (4)ウ 流通とプロモーションの動向・課題		4
2節 セールス・プロモーション	(4)イ プロモーションの実施 (4)ウ 流通とプロモーションの動向・課題		6
6章 商品開発と流通に関わる新たな展開		p. 170～182	(9)
1節 商品開発の新たな展開	(1)ウ 市場環境の変化		4
2節 流通の新たな展開	(3)カ 商品開発の動向・課題		3
3節 感覚を活かした商品開発・流通	(4)ウ 流通とプロモーションの動向・課題		2
		合計	105

常用漢字以外の使用漢字一覧

使用漢字	醜	醐	溢	蕎	濡	揃	繫	糊	蔓
初出ページ	4	4	13	13	14	31	36	36	38
使用漢字	剃	騙	嘘	剪	姜	函	邑	飴	噌
初出ページ	58	153	175	175	176	見返し 5	見返し 5	見返し 6	見返し 6
使用漢字	挽	糟							
初出ページ	見返し 6	見返し 6							

出典一覧表

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
巻頭巻末4	アクセシブルデザインの例①	写真						アサヒ飲料株式会社
巻頭巻末4	アクセシブルデザインの例②	写真						株式会社ノーリツ
巻頭巻末5	じゃがいも入りのハンバーグ	写真						北海道函館商業高等学校
巻頭巻末5	お好み焼き風かまぼこパン	写真						宮城県石巻商業高等学校
巻頭巻末5	シクラメン色の綿棒	写真						群馬県立館林商工高等学校
巻頭巻末6	はちみつのあめ	写真						東京都立芝商業高等学校
巻頭巻末6	肉味噌	写真						愛知県立岡崎商業高等学校
巻頭巻末6	焼きリンゴ味の八ッ橋	写真						京都府立京都すばる高等学校
巻頭巻末6	明太子を和えたおかずとおつまみ	写真						福岡県立宇美商業高等学校
8	物品貨幣として使われたこともあるカカオ豆	写真						ピクスタ株式会社
9	世界最大のアクリルドーム	写真						NIPPURA株式会社
10	SH社のスマートフォン	写真						シャープ株式会社
11	民泊施設の室内	写真						株式会社百戦錬磨
14	A社の紙パッケージを使用した商品	写真						味の素株式会社
17	E社の商品	写真						エステー株式会社
18	多角化されたS社の商品の例	写真						サントリーホールディングス株式会社
22	Iのスマートフォン	写真						アップル株式会社
23	フロッピーディスク	写真						ソニー株式会社
23	ナイロンのロープ	写真						ピクスタ株式会社
25	S社のスティックのり	写真						スリーエムジャパン株式会社
32	N社の靴売り場	写真						株式会社ナイキジャパン
33	お菓子の配置販売	写真						江崎グリコ株式会社
36	S社の付箋	写真						スリーエムジャパン株式会社

39	ブラウン管モノクロテレビ	写真					シャープ株式会社
40	IoTを活用した文房具	写真					コクヨ株式会社
42	0社のミッション	写真					オムロン株式会社
45	汗をすぐに吸い取るW社のシャツ	写真					株式会社ワークマン
47	観覧車があるサービスエリア	写真					中日本高速道路株式会社
48	冷凍ギョーザ	写真					味の素冷凍食品株式会社
52	マリノフスキ	画像					株式会社アフロ
55	アイトラッキング調査で使用される眼鏡	写真					トビー・テクノロジー株式会社
55	アイトラッキング調査の様子	写真					トビー・テクノロジー株式会社
56	ゼリー飲料	写真					森永製菓株式会社
57	ブレーンストーミング	写真					株式会社アフロ
61	チョコミントパンの商品イメージ	写真					第一屋製パン株式会社
62	会議室でプレゼンテーションをしている様子	写真					第一屋製パン株式会社
75	製造小売業Uの店内	写真					株式会社ユニクロ
78	A社商品を扱う店舗	写真					株式会社アフロ
81	商品を見上げた広告	写真					サラヤ株式会社
82	3D広告	写真					株式会社クロススペース
86	ふたを折るだけでタレが注がれる納豆	写真					株式会社Mizkan
99	子ども向け携帯電話	写真					ソフトバンク株式会社 セイコーソリューションズ株式会社
103	自動車のクレイモデル	写真					トヨタ自動車株式会社
107	切りやすく改善されたラップ	写真					株式会社クレハ
109	B社の時計	写真					ブライトリング
110	S社のスピーカー	写真					ソニー株式会社
114	建築デザインの例	写真					株式会社東京国際フォーラム
114	インテリアデザインの例	写真					長良川鉄道株式会社
114	ディスプレイデザインの例	写真					ピクスタ株式会社

115	切欠き処理が施された牛乳パック	写真					雪印メグミルク株式会社
121	キャラメル箱	写真					株式会社丸信
121	ワンタッチ底	写真					株式会社丸信
121	ピローケース	写真					株式会社丸信
121	二方袋	写真					株式会社よし与工房
121	三方袋	写真					株式会社フルハシ
121	スタンド袋	写真					株式会社フルハシ
122	食パンのパッケージ	写真					敷島製パン株式会社
124	社会性のある広告	画像					京都市
126	沖縄のポスター	写真					ピクスタ株式会社
130	関さば	写真					大分県漁業協同組合
131	H社のハイブリッドカー	写真					本田技研工業株式会社
135	K社の洗顔料	写真					花王株式会社
137	K社のキャラクター	画像					カルビー株式会社
139	ブランドNのジャケット	写真					株式会社ゴールドウイン
141	フィルムで包まれたおにぎり	写真					株式会社カナオカ
142	ベルが発明した電話	写真					株式会社アフロ
142	グラハム・ベル	画像					株式会社アフロ
142	イライシャ・グレイ	画像					株式会社アフロ
143	折りたためる箱ティッシュ	写真					王子ネピア株式会社
143	折りたためる箱ティッシュ	画像					王子ネピア株式会社
143	フロア用清掃用具	写真					花王株式会社
143	フロア用清掃用具	画像					花王株式会社
144	タイヤの模様	写真					横浜ゴム株式会社
144	タイヤの模様（本意匠）	画像					横浜ゴム株式会社
144	タイヤの模様（関連意匠）	画像					横浜ゴム株式会社
144	紙の器	写真					株式会社WASARA
146	乳酸菌飲料の容器	写真					株式会社ヤクルト本社
146	企業や商品のキャラクター	写真					日世株式会社
146	菓子の形状そのもの	写真					株式会社明治
147	税関で輸入を差止められたバッグ	写真					ルイヴィトンジャパン株式会社

147	税関で輸入を差止められたスマートフォンケース	写真					株式会社スタジオジブリ
148	商品化された無塩の乾麺	写真					はたけなか製麺株式会社
152	販売員による接客	写真					ピクスタ株式会社
158	インフルエンサー	写真					ピクスタ株式会社
164	I社の陳列の例	写真					イケア・ジャパン株式会社
170	体にフィットするソファ	写真					株式会社 良品計画
170	疲れにくいスニーカー	写真					株式会社 良品計画
172	C社のWebサイト	画像					株式会社クラウドワークス
173	C社のクラウドファンディングの例	画像					株式会社CAMPFIRE
174	全天球カメラT	写真					株式会社リコー
175	AIでぶどうの粒を数える	写真					株式会社クピド・ファーム
176	Dが開発したプライベートブランド商品	写真					株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス
177	N社の店舗	写真					株式会社ニトリ
178	Iのサイト	画像					株式会社一休
179	R社のガスコンロ	写真					リンナイ株式会社
180	ハロウィン	写真					ピクスタ株式会社
181	ドアの開閉音に重厚感を持たせている自動車C	写真					トヨタ自動車株式会社

※上記以外は自社作成

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や所有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

- 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
- (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作権者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。



ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	4	二次元コード, URL	自社	自社ページURL	一次遷移画面	別紙1添付
2	7,11,28,175	二次元コード	自社	自社ページURL	事例インタビュー動画	別紙1-1,2,3,4添付
3	60	自社マーク	自社	自社ページURL	ポジショニング・マップ作成アプリ	別紙1-5添付
4	184	自社マーク	自社	自社ページURL	重要用語一問一答アプリ	別紙1-6添付

別紙 1

別紙 1 - 1
別紙 1 - 2
別紙 1 - 3
別紙 1 - 4



別紙 1 - 5

別紙 1 - 6

別紙 1 - 1

事例インタビュー動画

駒木根 理花 さん

Q.市場調査の方法は？



実際に我々が「こんな商品あったらいいな」という

別紙 1 - 2

事例インタビュー動画

大野 彰則 さん

Q 民泊のメリット

デメリットは？



東京ですら空き家が増えている

別紙 1 - 3

事例インタビュー動画

原 英克 さん

Q.会議はどのように
進められる？



もうひとつは、お客様が手にとって購入されるときに

別紙 1 - 4

事例インタビュー動画

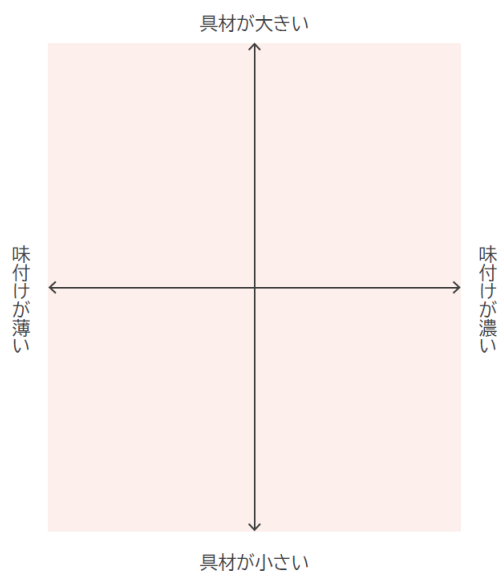
岩下忠士 さん 安部正彦 さん

Q.仕事内容は？



その2本立てでやっています

別紙 1 - 5



別紙 1 - 6

1章 商品開発と流通の概要

問1/42

生活に必要なものを自ら生み出す活動のことを何というか。

自給自足

登録 正解チェック 解説 次へ

🏠 使い方